

令和3（2021）年度

事業報告書

自 令和3（2021）年4月 1日
至 令和4（2022）年3月31日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東702番地1

1. 盲導犬育成事業について

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与について

- ①令和3年度の盲導犬無償貸与頭数は7頭
代替3頭（福岡県1、佐賀県1、山口県1）
新規4頭（福岡県1、熊本県1、宮崎県1、広島県1）
- ②盲導犬累計貸与数は271頭（タンデムを含む貸与者数279名）
- ③令和4年3月末現在の実働盲導犬47頭（盲導犬使用者48名）

(2) 盲導犬使用者に対するフォローアップについて

今期のフォローアップは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況の影響もあり、課題解決フォローアップに注力した。結果、訪問フォローアップ27件、電話・メール等フォローアップ35件により、ユーザーの歩行の安全をサポートした。

(3) 犬の飼育および訓練について

①繁殖について

- ・期中子犬27頭（出産子犬23頭+他協会譲受子犬4頭）を確保した。
- ・令和4年3月末の繁殖犬数は14頭（雌8頭、雄6頭）である。
- ・繁殖犬飼育委託家庭6件に対し、定期訪問36回実施した。
- ・AGBN加盟協会と繁殖協力の維持・発展に努めた。

②パピーウォーキングについて

- ・期中の新規飼育委託犬数は32頭、期末のPW委託犬頭数は31頭である。
- ・期中飼育講習会54回、飼育家庭訪問回数36回を行い、飼育指導に力を注いだ。

③候補犬の訓練について

犬の稟性・健康評価と並行して期中42頭の盲導犬候補犬の訓練を実施した。

④盲導犬の健康管理について

- ・フォローアップ及び7歳時検診を通して盲導犬の健康状態を確認して、犬の健康維持のための指導・助言を行った。
- ・福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位のご支援・ご協力をいただき、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施することが出来た。

⑤繁殖犬・リタイア犬等のケアについて

- ・飼育ボランティアおよび獣医師の方々の協力をいただいて、繁殖犬及びリタイア犬の健康管理に対応した。
- ・期中の盲導犬の引退頭数は10頭、期末の飼育委託頭数は39頭である。

⑥犬舎及び犬の健康管理について

犬舎担当職員・訓練士が協力して犬舎の衛生管理及び犬の健康管理を行い、嘱託獣医師と連携して疾病の早期発見・治療に努めた。

(4) 盲導犬歩行指導員等の育成について

- ①全国盲導犬施設連合会（以下「連合会」という。）主催の盲導犬育成ジャパンセミナー（令和4年2月オンライン開催）に参加して、職員の技術及び知識の向上に資した。
- ②盲導犬訓練研修生として3名を採用し、連合会の盲導犬訓練士資格取得に向けて指導している。

2. 普及啓発事業について

(1) 総合訓練センターにおける啓発活動について

- ①総合訓練センターの見学会は、コロナ禍の影響で、回数・受入人数を制限して開催したため、一般見学会5回75名（前期3回53名）・団体見学会4回80名（前期8回58名）と前期対比ではわずかに増加したものの、盲導犬および身体障害者補助犬法の所期の啓発活動は行えなかった。
- ②総合訓練センターで行う盲導犬宿泊体験（1日～2日）希望者を募り、期中3回実施し普及啓発に努めた。

(2) 盲導犬普及啓発街頭活動について

- ①ボランティアの皆様の協力を得てRKBラジオまつり、創立65周年の福岡ライオンズクラブはじめ糸島ライオンズクラブ等国際ライオンズクラブの会員の皆様の協力をいただき、盲導犬普及啓発活動並びに盲導犬啓発街頭募金活動を行うことが出来た。
- ②17年継続しているRKB毎日放送株式会社「いっしょに歩こう！RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンに、福岡県内40郵便局に募金箱設置の協力をいただくとともに、月1回、郵便局の店頭でRKBラジオレポーターのスナッピーによる募金及びPR犬による啓発活動を実施、多くの皆様から盲導犬育成募金に協力をいただいた。
- ③令和3年4月福岡県の協力のもと、飲食店関係者への補助犬受入れセミナーが開催され、飲食関係の多くの従業員各位の参加を得て、補助犬の受入れの理解と普及啓発に努めた。

(3) 実演・講演・体験歩行会の実施について

- ①国土交通省九州運輸局主催のバリアフリー教室（福岡県上穂波小・飯塚東小で実施）に参加した。また、福岡市日佐小学校・東住吉中学校等で出前授業を行い、参加小中学生に対し、ほじょ犬と視覚障がい者の社会参加について講演及び実演を行い補助犬への理解に努めた。
- ②令和3年11月、福岡市視覚障がい者福祉協会主催「暮らしをかえるための福祉機器展」にて、盲導犬体験歩行会を行うなど盲導犬普及啓発に努めた。

(4) 広報活動について

協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円をもとに、年 2 回（2 月、8 月）計 15,000 部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

3. 関係団体協力事業について

- (1) 九州盲導犬友の会は、新型コロナの影響で活動を自粛したので、電話メール等により、コロナ情報や対応策を発信して会員ユーザーの生活支援に協力した。
- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体事業に協力、福祉の向上に努めた。

4. その他

(1) 苦情・相談について

盲導犬使用者・ボランティア・一般市民の方からの期中 12 件の苦情・相談（内訳盲導犬使用上の相談 5 件、盲導犬受入れ拒否 1 件、盲導犬貸与相談他 6 件）に対し行政・関係団体と連携して迅速に対応した。

(2) 財政基盤の安定について

① 賛助会員について

今期末の会員数は 1,146 件（前期比 144 件増）である。

② 募金箱・盲導犬自販機について

今期末の募金箱設置先は 2,218 件（前期比 255 件増）である。

今期末の盲導犬自販機設置先は 95 か所（前期比 6 件増）である。

(3) 施設の整備について

- ① 訓練センター建物内の電灯を温暖化対策の一環として全て LED 電気設備とした。
- ② 訓練センター建物内無線 LAN 設備を整備した。

(4) 理事会・評議員会の開催について

理事会開催年月日	主な決議事項等
令和 3 年 6 月 1 日	<ul style="list-style-type: none">・ 令和 2 年度事業報告及び財務諸表等について・ 定時評議員会の開催について・ 評議員任期満了に伴う評議員候補者の推薦について・ 設備更新について・ 基本財産の運用について・ 業務執行状況の報告について

令和3年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度研修生採用について ・浄化槽等更新工事について ・業務執行状況の報告について
令和4年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新積立資産の積立について ・役員等の報酬等細則の改正について ・令和4年度事業計画及び収支予算（案）について ・定時評議員会の開催について ・業務執行状況の報告について
評議員会開催年月日	主な決議事項等
令和3年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告及び財務諸表承認について ・理事1名の選任について

(5) 職員に関する事項について

職員在籍状況		令和4年3月31日現在	
部 署	職 種	正 職 員	アルバイト・パート
管理部門	管 理 ・ 事 務	※2名	2名
事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発)	盲導犬歩行指導員	3名	
	盲導犬訓練士	2名	
	研 修 生	3名	
	ケネルスタッフ他		2名
計		10名 (前期比+1)	4名 (前期比+1)

※2名 (常勤理事1名を含む)

(6) 施設について

①施設 (総合訓練センター) の場所 ; 福岡県糸島市東 702 番地 1

②敷地面積 ; 4,133 m²

③建物

・管理棟 (主な建物)

(構造等) 鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479 m²

(主な設備) 事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室 (4室)

多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、

・犬舎棟

(構造等) 鉄筋コンクリート造 平屋建て 574 m²

(主な設備) 繁殖犬舎、第1犬舎、第2犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室

④太陽光発電設備 太陽電池出力 48kw

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。